

明治大学文学部 第7回読書感想文コンクール

あなたの感動を、率直平明な言葉でお書き下さい。

◇募集要項

応募資格 高校生および社会人

応募内容 課題図書から1冊を選び、1,200字以内で感想文を書いてください。
応募は未発表の原稿で、1人につき1点にかぎります。

応募形式 応募用紙(表紙)は文学部ホームページよりダウンロードしてください。
応募用紙には氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、高校生は、学校名と学年を明記してください。本文はA4サイズの400字詰原稿用紙3枚以内に「縦書き」で記入のうえ、郵送してください。応募作品は返却しません。ご記入いただいた個人情報は、本賞選考以外には許可無く使用いたしません。

優秀賞 100名(高校生部門、社会人部門合わせて)。
賞状ならびに作品集の贈呈、副賞として図書カード3,000円分。選考結果は、受賞者に郵送し、ホームページに発表します。優秀者全員の感想文は、「読むことの歓び」として単行本になります。作品集は受賞者ならびに各高等学校や図書館に寄贈します。作品の著作権については明治大学に帰属することとします。

課題図書

- 『生まれ出づる悩み』有島武郎作
画家となるか漁師の道か。北海道の荒々しい自然のなか、芸術への情熱と過酷な労働とのはざままで苦悩する若い魂を雄渾な筆致で描く。
- 『ペリリュー・沖縄戦記』ユージン・B・スレッジ著
小島での激闘と沖縄での地上戦。太平洋戦争末期、二つの戦闘を体験した米軍兵士が戦争の真実を浮かび上がらせる。
- 『変身/断食芸人』フランツ・カフカ作
若い会社員の主人公は、ある朝目覚めたら虫になっていた! 虫になったとたんに見えてくる日常生活のなかの「ゆがみ」に迫る。
- 『ガラスの動物園』テネシー・ウィリアムズ作
1930年代のセントルイスを背景に母と息子の葛藤、姉と弟の感情、青年の野心を描く戯曲。映画化もされた著者の代表作。
- 『朝鮮と日本に生きる—濟州島から猪飼野へ』金時鐘著
皇国少年だった著者は、朝鮮半島を分割統治する体制への抵抗運動に身を投じる。在日朝鮮人・韓国人が背負う苛烈な歴史の一端。
- 『風が強く吹いている』三浦しをん作
自分の気持ちにまっすぐ、誰かに強制されるのではなく、ただひたすら走る。いまこのときを熱く懸ける姿がまぶしい一冊。
- 『若き日の変転』ハンス・カロッサ作
ギムナジウムの生徒として親元を離れて暮らす主人公の魂を、日々の出来事が、ある時は光となりまた闇となって微妙に揺さぶる。
- 『にんじん』ルナル作
家族のあり方が問われる現代。「にんじん」は母親が赤毛のひねくれっ子に付けたあだ名。屈折した愛憎の日常が牧歌的に綴られる。
- 『わが友マキアヴェッリ フィレンツェ存亡』塩野七生著
16世紀のフィレンツェ共和国の書記官であり、近代政治学の古典といわれる『君主論』の著者マキアヴェッリの実像に迫る、塩野七生の渾身の作。
- 『三陸海岸大津波』吉村昭著
東関東大震災の40年以上も前に、太古より繰り返し三陸を襲ってきた大津波の脅威がこのように描き出されていたことは注目に値する。

締切 2015年 7月31日(金) 必着

表彰式 2015年 11月14日(土) 予定
於: 明治大学駿河台キャンパス
(受賞者にはご案内状を送付いたします。)

応募及び
お問合せ 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学文学部読書感想文コンクール選考委員会
電話 03-3296-4189



受賞作品が1冊の本になります



詳しくは文学部ホームページをご覧ください。
<http://www.meiji.ac.jp/bungaku/>